

事業実績書

事業名	双子・三つ子を安心して産めるまちへ	
場所	沼津市内	
期間	2021年 4月15日 ~ 2022年 3月 31日	
	日程	実施項目・作業項目
事業内容	<p>※ 実施内容、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、スケジュールも併せてわかりやすく記載してください。 イベントや研修会等の行事日程だけでなく、事業期間すべてにわたる実施内容を記入してください。(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会など)</p> <p>4月 実行委員募集 ミーティング</p> <p>8月 サポーター制度しくみづくり、利用規約作成 パパママ相談会チラシ作成</p> <p>8月16日 実行委員ミーティング</p> <p>9月 パパママ相談会参加者募集開始 沼津市、長泉町、清水町、三島市、函南町保健センターでチラシ配布</p> <p>9月26日 第一回 プレパパママ相談会 (オンライン)</p> <p>9月28日 防災講座打合せ</p> <p>10月2日 サポート事業会員募集開始</p> <p>11月14日 防災講座 講師：高良綾乃さん</p> <p>12月1日 サポーター派遣</p> <p>12月18日 もっちーず会実施</p> <p>2月6日 プレパパママ相談会 (メッセージ上)</p> <p>~3月31日まで 随時サポーター利用可能</p>	

※ 事業計画書において設定した、成果指標に対する実績値を、具体的な数値を用いて記載してください。

プレパママ講座：2回実施（うち1回はメッセージでの相談会）2名参加

サポーター派遣：1回実施

サポート事業会員数：15名 うちサポーター4名、利用者11名

防災講座：1回実施 7名参加

もっちーず会：1回実施 9家族参加

事業効果

- ① 双子・三つ子を妊娠したご家族の不安が軽減し、安心して出産に臨むことができる。→ パパママ講座に参加した妊婦さんより安心して出産できたという反応がいただけた。
- ② 一人で家の中で多胎育児を抱え込んでいる母親が外に出たり外とつながったりするきっかけとなる。→ もっちーず会ではコロナ禍でなかなか子どもを外に連れ出せないママさんが足を運んでくれた。
- ③ 家事・育児の手伝い、通院や予防接種の付き添いにサポーターを派遣することで、母親の育児の負担が減ったり心に余裕がうまれたりする。
→利用者の要請がなかったため通院や予防接種への付き添いは実施できなかったが、サポーター事業に会員登録してくれたのはサポートが必要なママ11名。サポートを実際に利用しなくても、万が一の際に頼める先があることで安心するというママの声が多かった。
実際にサポーターを利用したのは1名だけだったが、産後1か月で疲弊していたので話し相手になってくれただけで嬉しいと言っていた。双子の授乳や寝かしつけの手伝いを行った。
- ④ 災害などの際に助け合えるネットワークを構築し有事の際には助け合うことができる。→防災の知識をつけたことでより子育て世代のネットワークの構築が必要であることを発信し、つながりを続けていくことの大切さをメンバーの皆で再確認できた。
また、もっちーずという双子・三つ子のママによる団体があることを講師を通して防災士のメンバーにも伝えていただき、有事の際には多胎家庭についても気にかけていただけるように地域の方々に周知できた。
- ⑤ 普段なかなか外出できない多胎の母親が勉強会やイベントを通して知識をつけたりリフレッシュしたりできる。
→コンサートはコロナ禍による影響で開催中止したが、今年度はじめて実行委員という形でもっちーずの中でも積極的に運営を手伝ってくれるメンバーを募ることができたことは今後の活動においてもプラスであると感じる。

自己評価	<p>※ 上記事業効果を踏まえて、事業の自己評価をしてください。</p> <p>コロナウイルスのまん延により、予定していた対面での活動は、もっちーず会のみとなってしまい、コンサートの開催ができなかったことを残念に思う。</p> <p>しかし、サポート事業制度の開始により、15名が会員になりママ達が「いつでも助けを呼べる状態」をつくることができたのが大きな成果であると感じる。</p> <p>プレパパママ相談会を2度実施したが、他地区の保健センターや子育てサークル内で呼びかけしたにもかかわらず2名しか参加者が居なかったため、ニーズがないわけではないが、病院等での呼びかけ等、多胎妊婦にこの活動の存在を知ってもらう工夫が必要であったように感じる。</p> <p>防災講座では、多胎児のいる家庭に特化した備蓄や防災についてのお話をさせていただくことで、いつか起こるであろう震災に対してのママ達の不安な気持ちを少しでもぬぐうことができたと感じる。</p>
今後の活動予定	<p>※ ファンドを利用予定・自己資金で活動・事業の見直し等、今後の展開について記載してください。</p> <p>今回まちづくりファンド事業で資金をいただいて活動をしたが、もっちーずのメンバーはやはり多胎児の母であることがまず大前提としてあるため、活動に積極的に参加できるメンバーがとても少ないこと、また育児に手いっぱい防災などの講座に参加する余裕もないママが多いという現実気がついた。</p> <p>そのため、今後は事業をサポート事業にしぼり、資金を必要とする大きな活動（講座・イベント等）は廃止し、よりママ達の心のつながりとして団体が機能するようにしていきたい。</p>